

# こ か げ

第2号

平成22年 5月 25日発行

## ホームルーム・連絡事項

### 配布物

- |   |           |   |                   |
|---|-----------|---|-------------------|
| 1 | こかげ第2号    | 3 | 百寿大学開講式 写真(中1+小1) |
| 2 | 平成22年度予算案 | 4 | 教材・運営費領収書         |
- (領収印は指導員の印です。ご理解ください。)

### 連絡

- 本年度教材・運営費を集金致します。1名 ¥4000円です。  
ホームルーム終了後、各班ごとに集金をしてください。班の皆さんの分をまとめて、届けてください。皆さんは、領収書を受け取って下さい。
- 第1回百寿大学運営委委員会を開催致します。是非ご出席下さい。  
日時 5月28日(金) 午前10時00分 ~  
場所 末広公民館 研修室 (欠席される方は連絡を)  
議題 第27回運動会 自主活動 等

## 今日の学習

### 午前

(講堂)

講義『高齢者をねらう犯罪』

講師 旭川中央警察署 刑事・生活安全課 生活安全係

中田 愛美(なかた まなみ)氏

細谷地 洋行(ほそやち ひろゆき)氏

### 午後

(講座室)

学級会総会・・・1年間の大学生活等 各クラス委員さん選出  
教材・運営費の説明、元気はつらつ体操など  
専門指導員 栗田 富夫

## 平成22年度 百寿大学開講式を終えて

やっと暖かくなってきました。公民館前庭の桜がほんのり色づいた5月11日（火）に行われた開講式は、元気いっぱいの72名の皆様（当日出席71名）をお迎えし、緊張の中にも和やかに式を終えることができました。百寿大学の歌、元気な大学生の誓いの朗読等につき、宮崎友三学長、増子末広中央地区市民委員会長から「この1年健康に気をつけ、意欲をもち続けて、がんばってください。」「自己教育力を磨き学び続けてください。」との挨拶と祝辞がありました。

末広百寿大学 1組

末広百寿大学 2組



運営委員長さんが決まりました。5月11日のホームルームで運営委員長さんを選出しなければなりません。新米指導員の私はどのように進めたらよいか、少し不安があったのです。そんな中、皆さんに相談をいたしました。すると皆さんの中からすかさず声があがり「1組は箕浦 弘さん」「2組は渡邊新右工門さん」が、推薦をされました。お二人とも昨年に引き続いての役割となるのですが、快く引き受けていただくことができました。本当にありがとうございます。どうぞよろしく願いいたします。下の写真は委員長就任挨拶の様子です。

1組 ... 箕浦 弘 さん

2組 ... 渡邊新右工門さん



箕浦さんは旭川市百寿大学連絡協議会の副会長さんにも就任されました。



今年1年間、学級のまとめ役そして大学全体の推進役としてよろしくお願い致します。もちろん、学生一人一人の協力が何よりも大切なのです。

本日は他の役員も決まることと思いますが「助け合い人の和」を念頭に自分の出来ることについて行動を起こし、笑顔で講座開催日を迎えていただきたいと思います。

## 【前回の学習内容】

『加齢と耳鼻咽喉科疾患』 講師 旭川医科大学 講師 高原 幹先生

### 21世紀は感覚器の時代

- ・ 20世紀を通しての一つの目標は『長生きすること』でした。そして、わが国は『長寿世界一』となり、その目標はある程度、達成されたわけです。
- ・ そこで、21世紀の目標は『生活の質の向上』となるのではないのでしょうか。
- ・ ですから、感覚器が大切なのです。
  - 1 視覚（見ること）
  - 2 聴覚（聴くこと）
  - 3 嗅覚（においを感じる）
  - 4 味覚（味を感じる）
  - 5 触覚（さわって感じる）

この、五つの感覚のうち、耳鼻咽喉科は2と3と4の三つも担当していることになります。どれか一つでも能力が低下すると『生活の質』が低下してしまいます。

まず、聴覚についてのお話をします。



### 老人性（加齢性）難聴

- ・ 加齢性難聴は『内耳の伝達神経の脱落』が原因になっている事例が多いようです。
- ・ しかし、難聴の原因も程度もそれぞれに異なっています。従って治療法も様々に異なります。ですから、私たちがお願いしたいことは、『聞こえが悪い』『補聴器の購入』と**安易に走らないでいただきたい**ということです。補聴器がたんすの肥やしになる場合もあるのです。
- ・ 聞こえの心配があれば、まず専門医の診察を受けることが基本です。必要によっては、通常の『聴力検査』のほかに『語音明瞭度検査』などを実施し診断をします。
- ・ 外耳や中耳に機能低下がある場合は『伝音性難聴』と診断し、骨導検査等をして手術や投薬治療などをします。
- ・ 内耳に機能低下がある場合は『感音性難聴』と診断し補聴器の使用となります。その場合、程度によっては障害認定となります。現在、北海道内で発生した事例の影響で、認定が非常に厳格になっています。
- ・ 補聴器は基本的に『良い方の耳』に装着します。使用することにより前向きな生活になりますし、積極的になることができます。
- ・ 補聴器には『箱型』『耳かけ型』『挿耳型』がありますが、場面で使い分けることも必要です。両耳使用の方も増えています。いずれにしてもメンテナンスが重要です。
- ・ 中耳炎について  
『浸出性中耳炎』『慢性中耳炎』『真珠腫性中耳炎』等があります。それぞれに怖さが違います。医師の指示に従い、治療をします。

### 嗅覚障害について

- ・においがわからなくなる状態です。
- ・アレルギーの方や蓄膿から嗅覚障害になる方等があります。
- ・高齢の方の嗅覚障害は原因不明の場合が多く、診断に苦労しています。

### 味覚障害について

- ・食事の味が感じられなくなる状態です。現在は『亜鉛欠乏』との関係が注目されています。劇的な治療はなかなか難しいのですが、点鼻ステロイド、亜鉛剤投与、うがいの励行、悪影響を与える薬品の服用中止などをします。

### 音声障害・嚥下障害について

- ・声がかれる状態や食物が飲み込めなくなる状態です。咽頭ガンが隠れている場合もありますので、注意が必要です。

### 《 講座の感想 》 1組、2組の1班(各2名)

- ・高齢者の耳・はな・のどの病気について、病気の発展の様子が良く知ることが出来、初期受診の大切さを感じました。
- ・わかり易く講義をして頂き、質問にもていねいにお答え頂き、もう少し時間があれば、ききたかったです。
- ・加齢性難聴について、障害者の認定について、補聴器の種類について他、いろいろとパネルで事細かく説明してくださいました。ありがとうございました。今日の講師は足寄町出身の若~い先生でした。
- ・加齢と耳鼻咽喉科疾患。20世紀の目標(長生き) 感覚器とは五感を受けもつ(視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚)大変勉強になりました。ありがとうございました。特に耳鼻咽喉の話が勉強になりました。しかし、少し専門すぎたのではないかと思います。耳鼻咽喉の話がよくわかりました。



### ----- 次回の学習予定 6月1日(火)です。 -----

午 前 講義 「韓国家族の絆は本当に強い？」  
(講堂) 講 師 .....旭川大学 朴 姫 淑(パク イ スク)氏

午 後 実技 1組「フォト575をつくろう」  
(講座室) 講 師 .....元公立学校教師 伊 藤 俊 夫 氏  
数枚の写真を持参ください。

実技 2組「切り絵を楽しもう」  
(講堂) 講 師 ..... 樋 口 讓 氏  
細かい作業になります。普段メガネを使用されている方はお忘れなく！